

# 2021年度 石狩西部広域水道企業団 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進捗状況

## 1 二酸化炭素の排出量の推移

当企業団の事業実施に伴う二酸化炭素排出量の推移は、図1のとおりであり、2021年度は、二酸化炭素排出量が672t-CO<sub>2</sub>で、基準年度に比べ235t-CO<sub>2</sub>減少（▲25.9%）し、中間目標年度（2023年度）排出量833t-CO<sub>2</sub>を大きく下回りました。

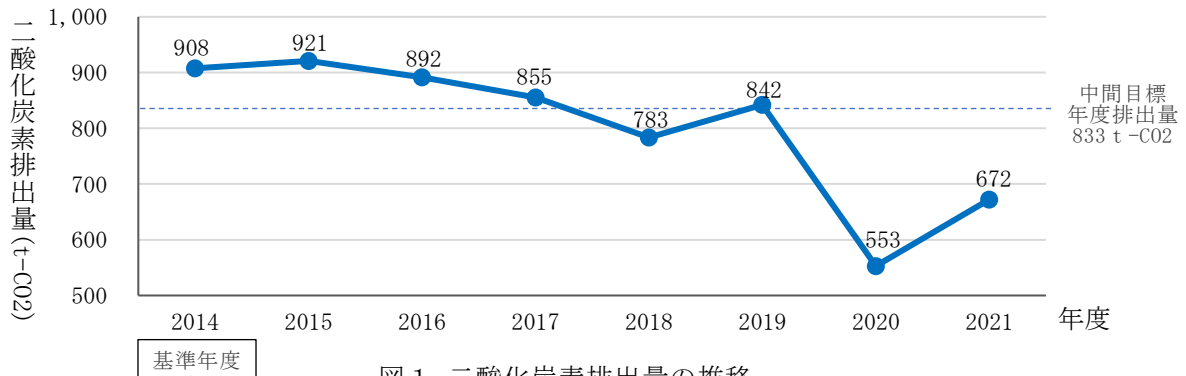


表1. 中間目標と取組実績

実行計画		区分		2021年度実績
基準年度(2014年度)排出量(A)	908	排出量(B)		672
削減目標	削減量	75	削減量(A-B)	235
	削減率	8%	削減率((A-B)/A)	25.9%
中間目標年度(2023年度)排出量	833			

※「排出量」は、二酸化炭素排出量を指し、単位は t-CO<sub>2</sub>。

※小数点以下を四捨五入して表示しているため、削減量や削減率は、表の数値による計算結果と一致しない場合があります。

## 2 電気使用量の推移

当企業団の水道施設における電気使用量及び送水量1m<sup>3</sup>当たりの電気使用量の推移は、図2のとおりです。

2021年度の送水量1m<sup>3</sup>当たりの電気使用量は、基準年度に比べ0.005kWh/m<sup>3</sup>減少しました。

当企業団のエネルギー消費の大部分を占める電気の使用量が基準年度に比べ増加しているにもかかわらず、1のとおり二酸化炭素排出量が基準年度に比べ減少した原因は、2021年度の電力排出係数が基準年度と比べ少ない数値となったことが挙げられます（2014年度；0.000678t-CO<sub>2</sub>/kWh、2021年度；0.000458 t-CO<sub>2</sub>/kWh）。

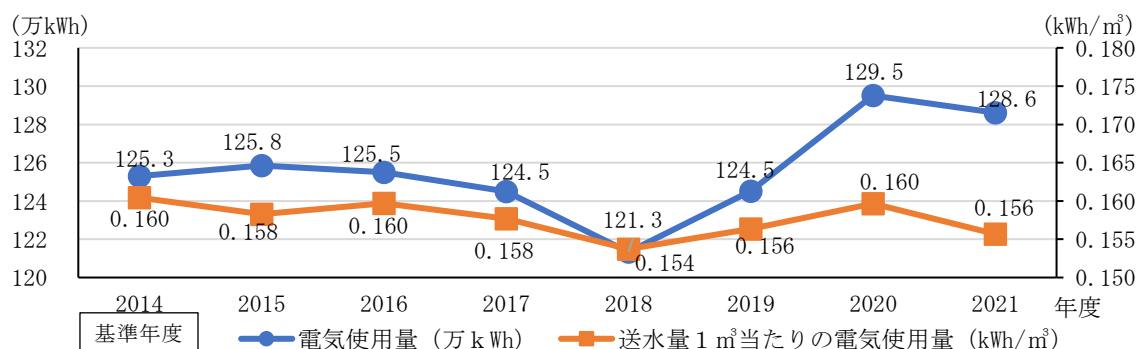


図2. 電気使用量の推移

### 3 2021年度における要因別の二酸化炭素排出量の割合

エネルギー種別の二酸化炭素排出量は図3のとおりであり、約90.5%が電気利用により生じています。

また、施設別の二酸化炭素排出量は図4のとおりであり、ポンプ設備を備えた当別浄水場及び当別分水施設からの排出量が全体の8割以上を占めています。

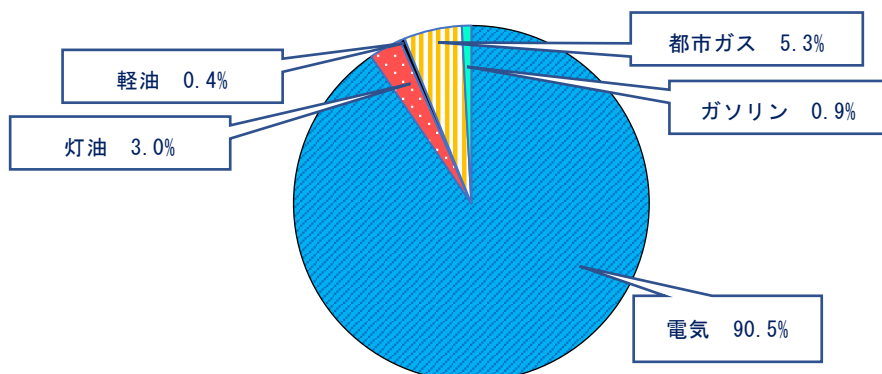


図3. 二酸化炭素排出割合(エネルギー種別)

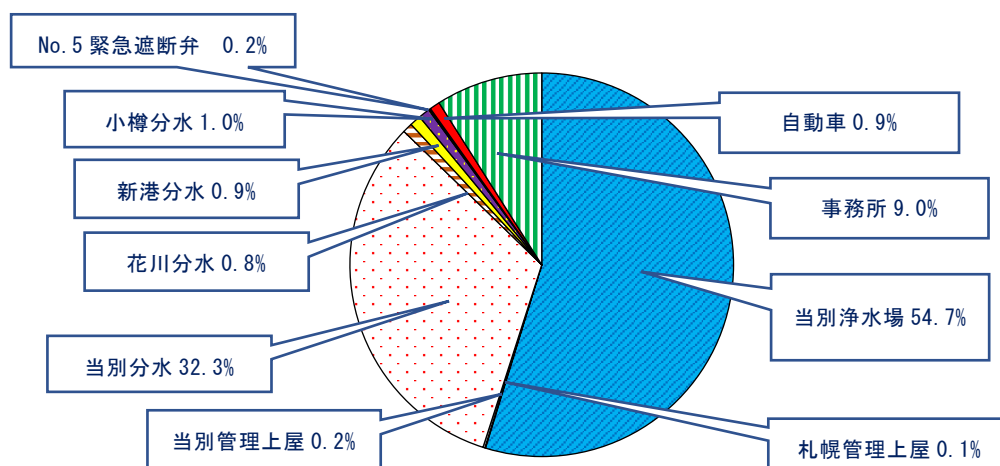


図4. 二酸化炭素排出割合(施設別)

### 4 実行計画に基づく主な取組

#### ○電気使用量の削減

- ・ 浄水施設及び分水施設に係る運転管理の効率化及び適正化に取り組むとともに、水道施設の運転管理業務受託者に同様の取組を要請しました。
- ・ 不必要な照明の消灯や、パソコン・コピー機の省電力機能の有効活用等の節電に取り組むとともに、水道施設の運転管理業務受託者に同様の取組を要請しました。

#### ○ガソリン使用量の削減

- ・ 効率的な公用車の使用や、エコドライブを実践しました。

#### ○灯油・ガス使用量の削減

- ・ クールビズ及びウォームビズを推進しました。

### 5 今後の取組

2021年度は、二酸化炭素排出量が基準年度と比べて25.9%減少し、中間目標年度である2023年度の目標を達成しましたが、電気使用量は基準年度より増加しています。

要因別の二酸化炭素排出割合の傾向を踏まえ、企業団職員による取組を徹底するとともに、引き続き、水道施設の運転管理業務受託者に対しても本計画に基づく取組を要請し、二酸化炭素排出量のさらなる削減を目指します。